

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館，災害研コラボ企画「夏休み特別イベント・親子で学べる防災教室」を開催しました（2021/8/10）

テーマ：親子で学べる防災教室「～地震で地面が溶ける？液状化を知ろう～」

場 所：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

URL：<https://irides.tohoku.ac.jp/organization/kouenkai.html>

8月10日（日），気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を会場に，気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館と東北大学災害科学国際研究所とのコラボ企画として，「夏休み特別イベント・親子で学べる防災教室」を開催しました。

伝承館とのコラボ企画としては今回 2 回目の開催となり，「～地震で地面が溶ける？液状化を知ろう～」をテーマに，当研究所の森口周二准教授（災害評価・低減研究部門 計算安全工学研究分野）が講師を務め，液状化の仕組みについての講演とペットボトルを使用した「液状化実験」を行いました。進行は森口准教授が行い，当研究所の佐藤翔輔准教授（防災実践推進部門 防災社会推進分野）と気仙沼分室スタッフがサポートしました。

講演では，液状化とはどのような仕組みで発生するのか，災害時にはどのように情報を収集したらよいか等を，子ども達にもわかりやすく説明しました。また，液状化実験では，ペットボトルで実験装置を作成するところから始まり，各自が手元で実際の液状化を体験し，じっくり観察をしていました。

当日は，市内外から 22 名（児童 12 名）が参加し，子どもも大人も一緒に楽しみながら取り組み，参加者からは，夏休みが終わったらお友達にも説明してあげたい，などの感想が述べられました。

新型コロナ対策として，予約時には連絡先を把握し，当日は検温，手指消毒，マスク着用の徹底，換気，参加者同士の距離をとる，実験時には密にならないよう屋外で実施するなどの対策を行いました。



森口周二准教授



会場の様子



液状化実験の様子①



液状化実験の様子②